

最終テストでは小林且雄師匠もチェックにあたりつづけた。



テストはもちろんターザン山田師匠。エビス、富士、西仙台他のタイム・パウトでおなじみの各サーキットがテストフィールドだ。テスト後は必ずTRDの湯浅ちゃんとミーティング。ターザン山田の右側にお二ちゃんが湯浅ちゃんだ。実はこの人も隠れ走り屋なんだぜ。

この結果にTRDの開発担当の湯浅ちゃん「ま、予想したとおりですね」と言いつつも、顔はひきつりまくり。その夜は涙で枕を濡らしたらしい。

計算、設定したもの、それよりさらに減衰力をアップさせたもの。コイツがサーキットでのテスト結果が予想以上に良かったのだ。ターザン山田師匠が弱アンダーを示し、クリッピング以降はパワーでリバースさせてオーバーに持ち込める。しかも、センシティブな動きはまったくない。試しにオイラが富士スピードウェイで走らせてみたところ、これがコワイくないんだ。同じタイヤを履かせていても、まるでグリップ力が違うし、コーナーの進入でもステアリングの動きに忠実に頭が入っていつてくれる。立ち上がりで腰砕けになってズリズリなんてこともなく、きっちりトラクションがかかるんだ。

ストリートでの乗り心地も悪くないし、高速でフルスケールメーターが役立つくらいのも安定性はバツチリ。それならサーキット走行で有利な減衰力の高い方で行こうってことになった。

お次はスプリングってことになるんだけど、こっちはTRDお得意のローダウンタイプの試作品がフロント2種類、リヤ3種類で用意された。サーキットテストではまずフロントのレートを決める。テストのターザン山田師匠が出した結果はバネレート11kgのほうだった。

これをもとにリヤはバネレート5・3kgからテストをスタート。結果的にはもつともレートの高い9・4kgに落ち着いた。

このセットでのターザン山田師匠のインプレッションはというと、もうベタボメ状態。それはタイム・パウトでのコメントを見てもうば明らかなだ。

足まわりの方向性としては、ガチガチに固めてクルマの動きを変えてしまおうのではなく、しっかりとストロークさせ、クルマのヨー変化にあわせて柔軟に動く足となった。これはTRDの方針でもあるのだが、ローはしていてもそれがクルマの挙動を乱すことはないし、逆に80スプリングらしい、アクティブなコントロール性を生んでいる。

西仙台ハイランドで行った最終テスト

では小林且雄師匠にも乗ってもらったが、「コイツはいいねえ。ドリフトコントロールもしやすいし、よくできてると、気に入ってもらえたようだ。」

TRDのデータ・ノウハウにOPTI ON流の味付けを加えたショック&スプリング。7月からデリバリーが開始されるそうだが、コイツはなかなかの仕上がりに思える。価格はショックが1セット11万2000円、スプリングが1セット3万6000円になる予定。スプリングは要チェックだぞ！



これがゲトラグのミッションケース、ちゃんとATFを使えと書いてある。

知っている人は知っていると聞けど、スーブラちゃんのゲトラグ製6速ミッションはちよっとクセ物なんだな(クレームの半分はミッション関係らしい)。6速ミッションだから本来はバカでかいケースに入れるべきなんだろうけど、ケースを見てみると普通の5速ミッションと変わ

エタニティ宮川の 今月のゲット! ②

The TRUST ATF
T-TYPE (20リットル缶)
価格 3万6000円

ゲトラグを守るには
このATFだ!



ミッション用ATFもトラスト製に交換し、これでスーブラちゃんのオイルはすべてトラストで統一されたゾ。



マメに変えてはいるんだけど、純正のミッション用ATFを抜いてみたところガビガビンに汚れていた。右が抜いたもので左がトラストのATFだ。



パッドメーカーのプロテクションもテストに全面協力していただいた。本当にありがたうございました。

協力: アドバンス ☎045-984-0984/アベックス ☎0462-26-4880/アローエンタープライズ ☎0729-65-0500/ARC ☎0545-36-2899/ATCインターナショナルジャパン ☎0727-27-0881/APP ☎03-3857-5011/エスプリ ☎0593-82-4694/HKS ☎0544-54-0484/HKS関西サービス ☎07438-4-0126/オートランド ☎03-3770-0671/カキモトレシング ☎0722-50-6896/クラリオン ☎03-3400-1121/JAMレーシング ☎03-3690-1610/TRD ☎045-543-5633/トライアル ☎0722-54-7039/トラスト ☎0479-77-3000/ブリッツ ☎03-3432-6718/プロテックス ☎045-935-3774/マインズウエイブ ☎0468-57-3313/横浜ゴム ☎03-5400-4531

知らない大きさ。これじゃ中身はギッチギチなんじゃないの? しかも潤滑にATFを使っているという不思議。オイル量もたったの2リットルしか入らないし、こりゃクセ物と言わずしてなんと言うって感じでしょう。

トヨタの話では「発熱量が多いので特殊なオイルを使っているんです。ですから、かならず専用オイルを入れて下さい」と言っているけど、ドモ、これがコワイんだ。納車後すぐにミッションから異音が出たのはご存じのとおりだけど、パワーアップを果たしてから、またもやミッションの音がデカくなってきてるし。

で、西仙台ハイランドでテストしてるときにトラストの平田大先生から「エッ、

新しいの純正ミッションオイルを入れてから走らせろ」と言われて、メチャ汚れていたら走っていいの、メチャ汚れていたら走っていいの、ミッションの負担がデカいのは明らか。ミッションを壊したくないなら高性能なATFに交換した方がいいはずだ。その点、ザ・トラストのATFなら安心だろうな。

ノーマルのミッションオイルを使っているの? そりゃ、ミッション壊れちゃいますよ。なんて言われたもんだから、もうビビりまくり。勧められるままにトラストのATFに手を出してしまった。

専用オイルではないけど、すでにトラストの開発車両でテスト済みだし、平田大先生も「絶対、ウチの方がいいですよ」と、太鼓判を押しまくっているだけに心配ナシ。実際にコイツを入れてみたら、スグエいいんだ。コトコトコトというミッションの音はほとんど聞こえなくなっただけ、ちよっと濃くなったくらいで3速と5速から6速もスパスバ入るようになった。

新品の純正ミッションオイルを入れてから走らせろとサーキット走行1回+2000kmしか走っていないのに、メチャ汚れていたら走っていいの、ミッションの負担がデカいのは明らか。ミッションを壊したくないなら高性能なATFに交換した方がいいはずだ。その点、ザ・トラストのATFなら安心だろうな。